

没ネタ探訪

なぜ私はリリースまで辿り着かないのか

seki at druby.org

○●● 重要なことを先に

● 先に

¥ 3360

- 初刷まだ買えます



Who is translating it?

- 英語版はまだ買えません



\$32.00

- International Journal of
PARALLEL PROGRAMING
- コレクターズアイテム
- 余剰資金のある研究室は
Must buy!

Int J Parallel Prog
DOI 10.1007/s10766-008-0086-1

dRuby and Rinda: Implementation and Application of Distributed Ruby and its Parallel Coordination Mechanism

Masatoshi Seki

Received: 20 March 2008 / Accepted: 13 August 2008
© Springer Science+Business Media, LLC 2008

Abstract The object-oriented scripting language Ruby is admired by many programmers for being easy to write in, and for its flexible, dynamic nature. In the last few years, the Ruby on Rails web application framework, popular for its productivity benefits, has brought about a renewed attention to Ruby for enterprise use. As the focus of Ruby has broadened from small tools and scripts, to large applications, the demands on Ruby's distributed object environment have also increased, as has the need for information about its usage, performance and examples of common practices. dRuby and Rinda were developed by the author as the distributed object environment and shared tuplespace implementation for the Ruby language, and are included as part of Ruby's standard library. dRuby extends method calls across the network while retaining the benefits of Ruby. Rinda builds on dRuby to bring the functionality of Linda, the glue language for distributed co-ordination systems, to Ruby. This article discusses the design policy and implementation points of these two systems, and demonstrates their simplicity with sample code and examples of their usage in actual applications. In addition to dRuby and Rinda's appropriateness for prototyping distributed systems, this article will also demonstrate that dRuby and Rinda are building a reputation for being suitable infrastructure components for real-world applications.

Keywords Ruby · Linda · dRuby · Rinda · TupleSpace · RMI

M. Seki (✉)
Tochigi, Japan
e-mail: m_seki@mva.biglobe.ne.jp
URL: www.druby.org

 Springer

 Springer

1307-1767/08/080000-12
© 2008 Springer Science+Business Media, LLC
DOI 10.1007/s10766-008-0086-1
Printed in the Netherlands

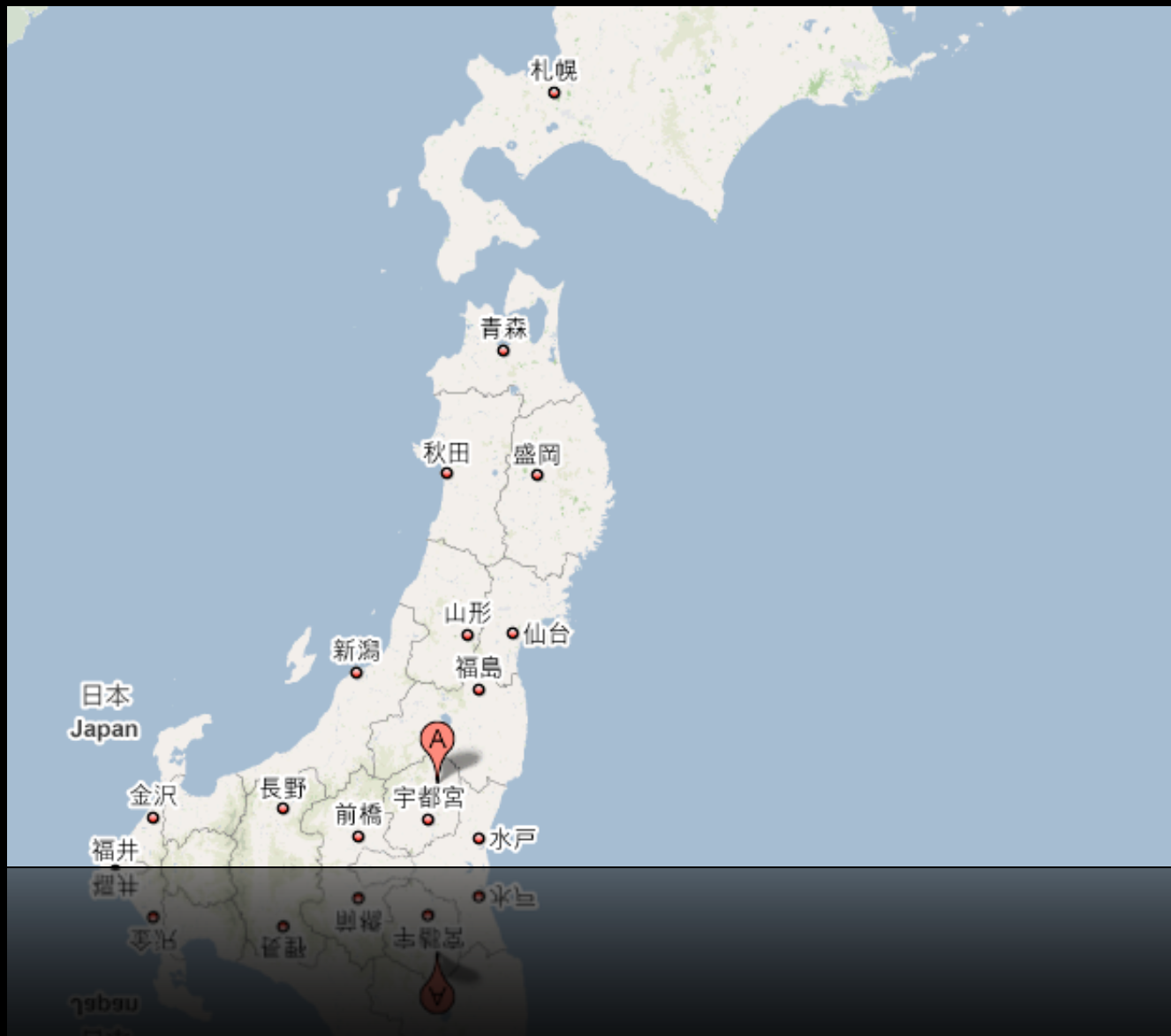
私について

- toRubyからきました
 - 池澤さんで一躍有名に
 - 毎月第一水曜日開催

会場



会場



● ● ● 没

- なぜ私はリリースまで辿り着かなくなったのか
- いまふりかえる没ネタの仕組み

●●● 役に立つなにかとか

- 動機はそういうのじゃない
- 誰かの役に立つものを作りたいとかそんなことは考えてなくて、自分のアイデアをあのうまい人たちに自慢



昔話

- 自分のアイデアを世に出すには

○ ● ● ftp.ruby-lang.org

- ftp.ruby-lang.orgへのput
- ruby-listへのアナウンス
- 20世紀の到達点

○ ● ● tar.gz

- putするにはいろいろアーカイブしなくてはならない
- サンプルやドキュメントらしきものとかさあ

咳といたします。

アーカイブしてftp.ruby-
lang.orgにputしました。

- さらにruby-listにアナウンスまで

○●● それでもしないと

- 自分のアイデアを自慢できない
- とってもとってもめんどくさいんだけどリリースしなくては自慢にならない

○●● 21世紀の墮落

- 公開リポジトリは墮落のはじまり

○ ● ● **cv.s.ruby-lang.org**

- 公開されたリポジトリを利用した開発
- いつでも最新のソースにアクセス可能
- sourceforge、druby.orgなんかも同様



アナウンス不要

- 「cvsの先端を見てください」
- 更新してもアナウンスする必要がない
 - いや、あるんだけどしなくてもいい
ような気になる

●●● 追い打ち

- はてなとかmixiとかtwitterとかircとか
- 一部に向けてアイデアを自慢可能に
- 文章ではなくつぶやきだけでよい
- 文章というより文…。推敲もない。

●●● 薄情

- そもそもなにかをやり遂げることができなかったのだがテクノロジーの進歩がそれを助長してくれた。

○●● そして

- さらに自慢する機会の増加
- とりあえず発表はさせてもらえる
- 論文も書かせてもらえる
 - 書籍を書く体力はもうないかも・・

● ● ● まとめ

- 怠惰はテクノロジーによって加速する



重要

● まだ初刷買えます!



銅鑼はまだですね

One more thing...

没ネ夕探訪

棚卸し編

seki at druby.org

棚卸し

PTupleSpace

- 永続版Rinda::TupleSpace
- RubyKaigi06でアナウンスしたよ
- cvsのリポジトリに入ってるけどアーカイブした記憶がない→してたみたい
- とくに問い合わせもないのでそのまま

PRb

- 永続Ruby
- PostgreSQLをストレージとしたOODB
- Rubyのメモリ空間をそのままRDBに
 - 飽きた..限界が見えたしKoyaに移行

Koya

- 半年くらいいいじってないOODB
 - 任意の時刻の状態に戻れるDB
- 試してくれたのはid:secondlife氏くらい?
- ストレージはQDBM
 - sqlite3, sqlite経由QDBM, TokyoCabinet

TokyoCabinet版のコードを紛失したみたい

QDBM

TokyoCabinet

- っていうかソート済の集合
 - BigTableとかさ
- キーに値が結びついて、キーがいつも並んでいる
- 任意のキーから順に辿れる

世界は一次元

- 広大ななにかを探索するとき、順に辿るしかないんじゃない？
- Treeだってたどるときは一次元だし
- TupleSpaceやHashは不便
 - 知ってることしか探せない

Koyaの実装

- オブジェクトの空間も一次元だ
- オブジェクトIDと属性の組をキーに
- ついでに全ての変更を時刻をキーに保存
 - 任意の時刻の状態になれる

Koya

- RubyにはトランザクションがないんだけどOODBでトランザクションを導入するなんてありえるのかなあ
- synchronizeはあるけど
- ロールバックとはなんなのか真剣に考えたらなにかが間違っている気がしてきた

imaco

- Text::HatenaをベースにしたCMS
- druby.orgをそれで書き直そうとした
 - asinまわりの問題が出たまま更新停止
 - 飽きたわけではない
 - 面倒なだけ

Tofu3

- WEBBrick::CGIに特化した次世代Tofu
- CGIやWEBBrickを抽象化する層ではなくなった
 - Tofuの存在意義が..
- セッション管理

Div3

- Web UIではなくWebサービスにむく問い合わせを追加する
- まだ何も書いてない
- 書いてないのに没ネタといえるのか？

/ * NOTREACHED * /

ここまではこないはず